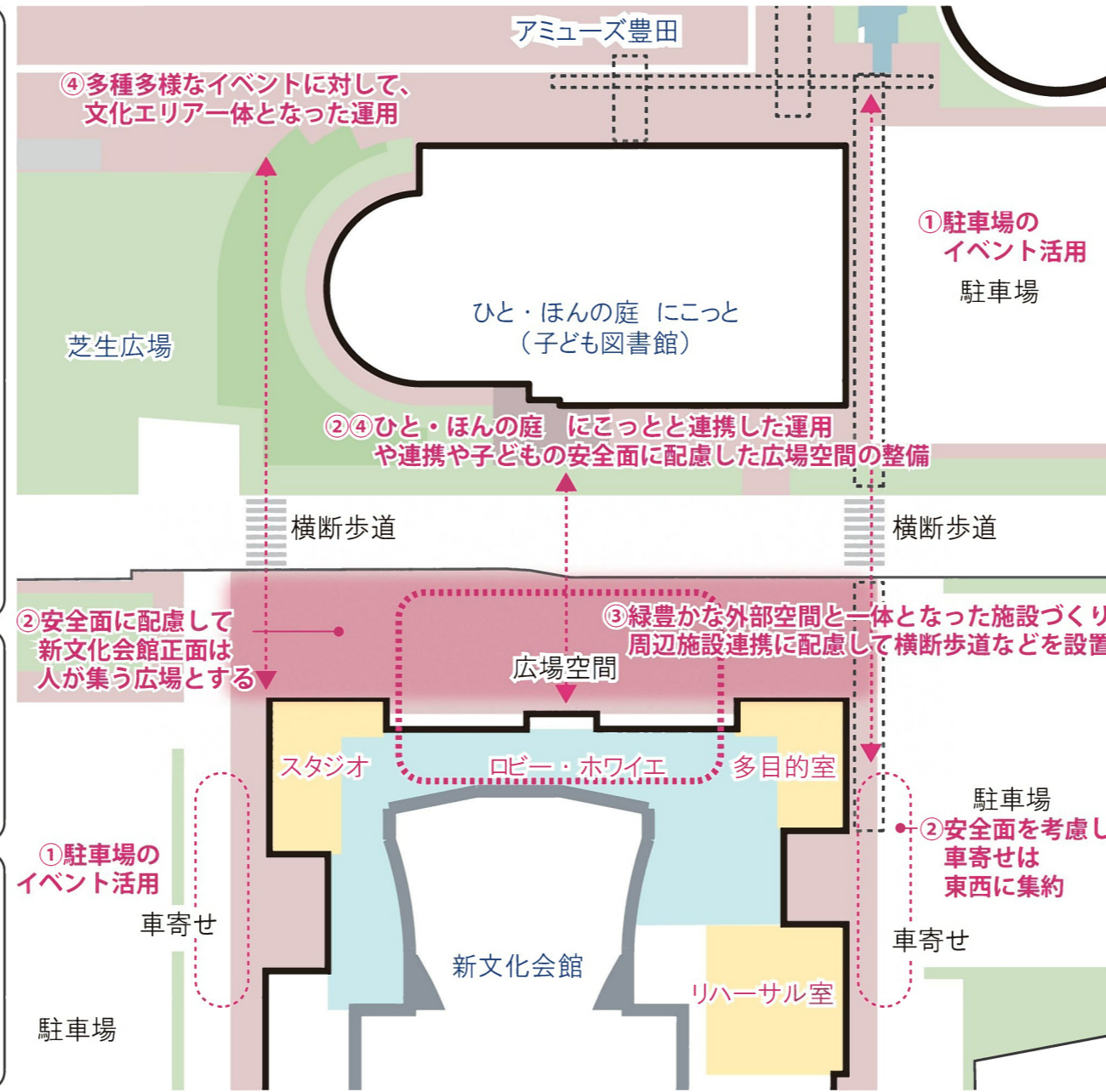


第4回ワークショップまとめ

グループ①の主な意見

- 文化エリアにおけるイベントや有効活用について・・・①
 - ・自由研究イベントや発表を行うことのできる場としたい。
 - ・地域の祭りなどのイベントを集約し、文化村として運営してほしい。
 - ・大学のオープンキャンパスやこども文化祭を開催したい。
 - ・定期的に子ども用品専用のフリーマーケットを開催したい。
 - ・こども文化の創造発信の場にしたい。(紙芝居、人形劇フェスタ、読み聞かせなど)
 - ・地元企業と連携した先進的な学童を行いたい。(ロボットのプログラミングなど)
 - ・レジャ・エミリアのオロロッジョのような学生図書館として様々な体験のできる文化施設になると良い。
 - ・道路で落書きを楽しむ親子アートワークショップをやってみよう。(銀座で行われているアイランダーのイベント)
 - ・ポップな作品や新造形館の作品を設置したい。
 - ・佐久島のようなアート作品を設置したい。
 - ・コミュニティ広場、外部、窓間、芝生広場にアートイベントとして、インスタレーションアート(外部芸術家)の設置をしたい。
 - ・音楽祭と芸術祭を合同で開催したい。
 - ・様々なジャンルのダンスフェスタを開催したい。
 - ・二階からマーチングやダンスを見られると良い。
 - ・アコースティックライブを芝生広場でも開催してほしい。
 - ・車椅子バスケットボールと一緒に障害者理解のイベントを開催したい。
- 安全性に配慮した正面の空間づくり・・・②
 - 車寄せ、芝生広場
 - ・正面に車寄せは不要、人が集う空間にしてほしい。
 - ・正面は車寄せではなく、緑豊かな芝生広場としてほしい。
 - ・芝生の周りにライトを設置して演者をライトアップできるようにしたい。
 - ・会館一階のガラスを開閉できるようにしたい。
 - ・会館前の道路はイベント時には通行止めにしてほしい。
- 外部空間と一体となった施設づくりと動線の整備・・・③
 - ・新文化会館とにこっとの動線を確保してほしい。
 - ・横断歩道が一か所では少ないので西側にも作るか、中央に幅の広い歩道を設置してほしい。
 - ・エリア全体を回遊できる動線がほしい。
 - ・フラットでバリアフリーな広場、歩道空間としてほしい。
 - ・正面を広場にして噴水やミストを設置してほしい。
 - ・にこっとの「にわのま」の広場の木を借景として緑豊かな空間としたい。

様々な活動に対応する新文化会館のイメージ



文化エリア一体としてのイベント運用や各施設が連携しやすい、車ではなく、人が集う正面広場の整備を目指す

グループ②の主な意見

- 文化エリアにおけるイベントや有効活用について・・・①
 - ・音楽フェスタでコミュニティ広場や外部空間を活用した出店をしたい。
 - ・文化ゾーン一体でクラフトフェア等を共催してほしい。
- 安全性に配慮した正面の空間づくり・・・②
 - ・全体的に緑を増やして車中心から歩行者中心としてほしい。
 - ・車寄せの出入口の標識をシンプルにわかりやすくしてほしい。
 - ・正面の道路に車を入れない運営としてほしい。
 - ・道路に車がスピードを出さない工夫をしてほしい。
 - ・安全性を保ちつつ、通りやすい工夫もしてほしい。
 - ・駐車場の入口が北側にしかないため東西にも設置してほしい。
 - ・身障者駐車場は正面ではなく、エレベーター近くにして動線に配慮してほしい。
 - ・安全面を配慮して車寄せは東西に設置してほしい。
 - ・正面は車寄せではなく、緑豊かな広場にしてほしい。
- 外部空間と一体となった施設づくりと動線の整備・・・③
 - ・ロビー、ホワイエから緑が見える空間にしたい。
 - ・正面の屋根付きの範囲を大きくしてほしい。
 - ・外と中の境目をあいまいにする仕掛けがほしい。(ガラスの開閉など)
 - ・外部から直接利用できるトイレを設置してほしい。
 - ・風除室の入口を移動してほしい。
 - ・正面の風除室の入口は中央ではなく、2か所に分けて設置してほしい。
 - ・中からの見目を良くしてほしい。
 - ・正面外部空間はロビーと一体となった交流スペースになるようにしてほしい。
 - ・交流ロビーの様子が外部空間や道路から見えるようにしてほしい。
 - ・広場の近くには水回り(足や手を洗う場所)がほしい。
 - ・広場には芝生の部分を整備してほしい。(全体でなくてもよい)
 - ・外部空間は芝生広場が良い。
 - ・芝生などに合わせてベンチなどを一緒に設置してほしい。
 - ・正面は車寄せではなく、緑豊かな広場にしてほしい。
 - ・にこっとの間の木を少し間引いて新文化会館とお互いが見えるようにしてほしい。
 - ・にこっこと文化会館が柵で見えなくならないように配慮してほしい。

安全面に配慮した正面空間の整備と新文化会館内部と正面空間が一体となって活用できる施設づくりを目指す。



ディスカッション内容の特徴と主な課題

- ①様々なイベントを通して、文化エリアを一体として盛り上げるための具体的なイベントの提案が多かった。
→イベントの実現に向けて市で検討する。
- ②正面空間に対する安全面や車寄せに対する意見が多かった。
→安全面に配慮された人のための空間になるよう、正面の外部空間は車寄せでなく広場として計画する方針の採用を目指し、市内で調整する。
- ③外部空間との一体利用や施設間連携を促す動線整備に関する意見が多かった。
→周辺施設や新文化会館と外部空間が一体的に有効活用されるように、可能な範囲で設計に反映する。